

水沢小学校

生徒数 597 名
所在地 水沢字堀ノ内4-2 ☎ 23-2211



水沢小学校は明治6(1873)年に開校しました。本年度で146周年を迎える歴史と伝統のある小学校です。「流れてつきぬー」で始まる2部合唱の校歌は、県内で最初に作られたもので、子どもたちにとっても自慢の校歌です。学校行事の際には、保護者やお客さまと一緒に声を合わせ、大切に歌っています。明治42(1909)年に制定された校訓「勤勉 同情 誠実」については、大正10(1921)年に斎藤實が揮毫した書が、現在も体育館正面に掲げられています。

本年度も知・徳・体の調和がとれた人間性豊かな子どもを育てるために、全教職員の力を結集し、家庭や地域、関係機関と連携しながら教育活動を推進しています。



歴史ある校歌を大切に歌います

学校通信之二

食に関する教育

本校は自校給食です。作りたてのおいしい給食を毎日いただいています。6月14日には、1年生の給食試食会が行われ、おうちの方々と一緒に給食を食べることで、いつも以上においしく味わえたようです。また、栄養教諭が各学級に入って、食に関する指導を実施しています。2年生では「野菜となかよになろう」という内容で学習し、食べることへの興味関心を高めていました。



栄養教諭による食育授業

三偉人に学ぶ

子どもたちは、社会科や総合的な学習の時間に、郷土である水沢について学んでいます。

6年生は「先人から学ぼう」というテーマの下、郷土の偉人である後藤新平、斎藤實、高野長英につ



記念館でも学習します

いて学習します。その学習を通して「目的を果たすために努力することの大切さ」「未来に対する先見性の素晴らしさ」など、たくさんのことを学んでいます。

児童会スマイル宣言

思いやりの心を育むため、各学年や児童会で「スマイル宣言」に取り組んでいます。これは、お互いが笑顔になれる関係づくりを目指す取り組みで、はじめの定義をもとに、どんな言動を心掛けたいか学年・学級で話し合い、主体的な活動へとつなげていきます。

また、児童集会では、その宣言についての取り組みや、実際に見られた思いやりのある姿について発表しています。



みんなの前で発表します

幼保小連携事業

幼稚園や保育園、子ども園から小学校へ上がる子どもたちが、新しい環境で円滑に学習や生活を進められるようにするため、各園と事前に連携
2学期のあそびランドも楽しみです
を行う事業に取り組んでいます。6月5日には、1年生の授業参観・連絡会議に20人を超える各園の先生方が来校され、入学後の卒園児の姿をご覧いただきました。2学期には、園児の皆さんを生活科の授業で「あそびランド」に招待し、交流する予定です。



佐倉河地区は水沢の北端に位置し、北側を胆沢川が、東側を北上川が流れています。地区センターを中心に10の行政区、約2千世帯で構成されています。

地区の特徴として▼国指定史跡の胆沢城跡▼米の産地である穀倉地帯▼工業団地・流通団地▼東北自動車道インターチェンジ▼水沢フラワースタジアムなどがあり、佐倉河地区振興会では、これらを生かした地域づくりをコミュニティ計画で定めています。

地区センターには、佐倉河小学校、佐倉河幼稚園、佐倉河放課後児童クラブといった教育施設が隣接しています。

昭和の市町村合併前の旧佐倉河村時代から、教育立村として教育に力を入れており、その伝統が今なお息づいています。『歴史と文化を活かし人と人のつながりを大切にするまち佐倉河』をコミュニティ計画に掲げ、まちづくりを進めています。

地域のシンボルの存在である胆沢城跡は、国史跡指定第1号としても知られています。「胆沢城跡歴史公園」として整備が進められていましたが、工事が完了し6月に開園しました。この歴史公園が、地元はもとより市民の憩いの場となるよう、地区でも広めていきたいと考えています。



「佐倉河音頭」は、旧佐倉河村時代の昭和27年に作られました。協働のまちづくり事業の一環で平成24年に踊りとCDをリニューアル。その後立ち上げた「佐倉河音頭保存会」では、佐倉河小学校や佐倉河幼稚園の運動会での披露に向けて、講習を行っています。現在は、地区民運動会や佐倉河まつりなどにも披露の場を設けています。今後、さまざまな場で広く普及したいと考えています。

60回を超える「佐倉河地区民運動会」は、毎年8月第3日曜日に開かれます。各行政区から選抜された選手たちが優勝旗を目指してにぎやかにかつ、友好的に競技を繰り広げます。小学1年生によるアトラクションや宝拾いは、熱い戦いの中での一服の清涼剤となり、気持ちを和ませてくれています。



11月第1日曜日の「佐倉河まつり」では、恒例のサンマ焼きや芋の子汁の振る舞いに毎年長蛇の列ができます。産直の野菜は地区外からの来客もあるほど好評。放課後児童クラブの一輪車の演技、行政区毎の演技発表、家庭の味のレストランも人気を集めています。この日は地区センターに多くの人が訪れ、地区民が触れ合う大きなイベントとなっています。

いいとこ、知っとこ、おうしゅう

地区センター単位で各地区を紹介します



佐倉河地区

拠点 佐倉河地区センター
(水沢佐倉河字西沖ノ目4番地1)
☎ 23-3361

注目の話題 さくらかわ銘菓ができました



地元の食材にこだわった土産品が完成し、5月から販売を開始しました。これは協働のまちづくり事業の目玉として開発したものです。①歴史の里・胆沢城お米がすてら(奥)、②伝説の里・長者様のやき米(中央)、③お田の神・豊作まんじゅう(手前右)、④いそせ・招福くつきー(手前左)の4商品。薬師堂温泉、うたたねカフェさくらの湯、四つ角酒店で販売しています。近くにお越しの際は、ぜひお買い求めください。